

## 平成26年門真市教育委員会第7回定例会

開催日時 平成26年7月25日（金） 午後2時

開催場所 本館2階 大会議室

### 議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第29号 門真市社会教育委員の委嘱について
- 日程第4 議案第30号 門真市子ども読書活動推進計画審議会委員の委嘱及び任命について
- 日程第5 議案第31号 平成27年度小学校使用教科用図書の採択について
- 日程第6 議案第32号 平成27年度小学校使用教科用拡大図書の採択について
- 日程第7 議案第33号 平成27年度中学校使用教科用図書の採択について
- 日程第8 議案第34号 平成27年度中学校使用教科用拡大図書の採択について
- 日程第9 諸報告

### 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第9まで

### 出席委員

委員長	長澤 信之
委員長職務代理者	藤原 定壽
委員	磯和 均
委員	桜井 智恵子
教育長	三宅 奎介

### 事務局出席職員

学校教育部長	藤井 良一
生涯学習部長	柴田 昌彦
こども未来部長	河合 敏和
学校教育部次長	山口 勘治郎
生涯学習部次長	山田 益夫
こども未来部次長	大矢 宏幸
学校教育部総括参事	満永 誠一

学校教育部教育総務課長	西岡 慈敏
学校教育部学校教育課長	上甲 尚
学校教育部学校教育課参事	成田 明子
学校教育部学校教育課参事 兼教育センター長	岩佐 美奈子
生涯学習部生涯学習課長	牧菌 友広
生涯学習部スポーツ振興課長	丹路 保浩
生涯学習部図書館長	西中 敏美
こども未来部こども政策課長	山 敬史
こども未来部こども政策課参事	森 房子
こども未来部子育て支援課長	三宅 聖子
こども未来部保育幼稚園課長	森田 邦裕
こども未来部 こども発達支援センター長	宮下 勝仁

長澤委員長 開会宣告 午後2時

日程第1 会議録署名委員の指名

長澤委員長より 磯和 均 委員を指名

日程第2 会期の決定

本日1日と決定

日程第3 議案第29号 門真市社会教育委員の委嘱について  
説明者 牧菌生涯学習課長

議案書1ページをご覧ください。

現在委嘱しております、門真市社会教育委員8名の任期が、平成26年7月31日をもって満了のため、社会教育法第15条第2項及び門真市社会教育委員条例第2条及び3条に基づき委嘱するものでございます。

同じく2ページに門真市社会教育委員名簿を記載しております

すのでご覧ください。

この度、委嘱する8名は大阪樟蔭女子大学教授の萩原雅也氏、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任准教授の木ノ下智恵子氏、大阪府立門真なみはや高等学校校長の岡田正次氏、門真市立小・中学校校長会、門真市立第五中学校校長の川崎誠剛氏、門真市立小・中学校校長会、門真市立砂子小学校長の脊戸利子氏、元府立門真スポーツセンター館長の桂千恵子氏、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団総括ディレクターの木下みゆき氏、門真市立中学校スクールカウンセラーの古川秀明氏でございます。

[全委員異議なく、可決]

#### 日程第4

議案第30号 門真市子ども読書活動推進計画審議会委員の委嘱及び任命について

説明者 西中図書館長

議案書3ページ及び4ページでございます。

このたび、第2次門真市子ども読書活動推進計画の策定にあたり、大阪樟蔭女子大学の神村朋佳氏、門真PTA協議会の乾明雄氏、門真市立第5中学校校長の川崎誠剛氏、門真市立砂子小学校校長の脊戸利子氏、絵本ことの葉会の東田妙子氏、門真市学校教育課長の上甲尚氏、門真市生涯学習課長の牧菌友広氏、門真市子ども政策課長の山敬史氏、を門真市附属機関に関する条例に基づき委嘱及び任命するものでございます。

尚、委嘱期間及び任命期間と致しましては、委嘱又は任命の日から当該諮問に係る答申が終了する時までとするものです。

[全委員異議なく、可決]

#### 日程第5

議案第31号 平成27年度小学校使用教科用図書の採択について

説明者 岩佐学校教育課参事

議案書の5ページです。今回の小学校使用教科用図書の採択に

については、門真市立小学校において使用する、同一の教科用図書を採択する期間が27年3月31日をもって満了するため、27年度から使用する11種目の教科書を、6ページにお示ししております。「平成27年度小学校使用教科用図書一覧」の中から種目ごとに1種類の教科用図書を採択していただくために本案を提出するものです。

本年度の「門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会」において、教科書見本、本市調査員からの「門真市教科用図書選定資料」、大阪府教育委員会作成の「教科用図書選定資料」を参考に調査研究を行い、答申を作成していただきました。これらの資料につきましては、教科書をご採択いただいた後に公開する予定でございます。

門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会答申等を参考にさせていただき、本市の児童に合う最も適切な教科用図書の採択をお願いいたします。

長澤委員長： 小学校用教科用図書の選定につきましては、26年4月28日付けで『平成27年度小学校使用教科用図書の適正な選定について』を門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長に諮問し、7月16日に選定委員会答申をいただき、7月18日開催の教育委員会協議会において、時間をかけて委員全員による調査研究を行ったところでございます。

また、これと並行して、7月2日から24日までの3週間、各委員の方々に教科書見本を熟読の上、調査研究を行っていただいたところでございます。

答申につきましては、改めて各委員の机前にお配りしております。この答申をもとに、種目ごとに採択を進めていきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

各委員： 異議なし

長澤委員長： それでは、今から門真市立小学校用教科用図書の適正かつ公正な採択を行うため慎重に審議を進めていきます。各種目の審議につきましては、各委員からの意見をいただき、合意の中で採択を進めていきたいと思っております。審議を行う種目の順番は、選定資料の番号順でよろしいですか。

各委員： 異議なし

長澤委員長： まず国語から始めます。すでに見本本は閲覧済みとは思いますが、もう一度確認のためご覧下さい。5分程度調査研究の時間をとりたいと思います。よろしくお願いします。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、国語につきまして審議を始めます。国語は5社から出ております。ご意見のある委員は、挙手をお願いします。

藤原職務代理： 国語という教科は、授業をするにあたり、この教材で何を目的として、何を狙いにしているか悩む教師は多いと思います。今本市で、教師で40歳ぐらいまでの人、20年の経験がない人は約40%いて、門真の学校では、経験年数の浅い教員が増えており、「国語の授業をどうすればよいのか悩んでいる。」との声を時々聞くことがあります。そのことを考慮して教科書を選択しなければなりません。

このような視点でみると、各教科書の題材の後ろのページにある「学習のてびき」が充実している教科書である、「東京書籍」と「光村図書」が良いと思います。

長澤委員長： はい、分かりました。他の委員はございませんか。

三宅教育長： 今は、3年生でローマ字を学習するのですね。5、6年生の外国語活動と中学校英語との接続を考えると、4～6年生まで、ローマ字を何度も繰り返し復習する必要があると思います。

「東京書籍」「三省堂」「光村図書」は、3年生から6年生まで、ローマ字の一覧表が掲載されている点が良いと思います。

長澤委員長： はい、ありがとうございます。

磯和委員： 「東京書籍」は、グラフやチラシなど、文章以外の様々な資料を読む題材を扱っており、活用型の学習が充実していると思います。

一方、国語の力をつけるためには、読書活動も大切です。選定資料にもありますように、「東京書籍」は紹介図書が全部で534冊で、最も多い点が良いです。

「光村図書」は、全体的にみると、教材文が長くて難しい印象を持ちましたが、同じ学年で比較しても、字の大きさが小さいですが、その分内容は充実しています。報告文や提案書など、様々なジャンルの文章を書く活動についての説明が詳しくて分かりやすいと思いました。

長澤委員長： 「東京書籍」「光村図書」「三省堂」を推す意見が出ていますが、いかがでしょうか。

三宅教育長： 本市では、学校の意見も入れながら教育委員会で「門真市版授業スタンダード」を作成し、これに基づき、言語活動の充実を意識した授業づくりを進めています。

物語文ですが、どの作品も物語についてはしっかりとしたものを選択していると思います。学校ではただ物語文を読むだけではなくて、本を友達に紹介したり、本の紹介のリーフレットを作ったりと、様々な言語活動を通して児童に国語の力をつける取組をしているところです。

「光村図書」は、各題材でどのような言語活動をし、どのような力を身につけるのかが非常に明確です。教員にとっても授業がやりやすいと思います。この教科書を十分に読み込んで授業をすれば、子どもたちの国語の力は伸びると思います。

磯和委員： 3社とも、それぞれに工夫がされていますが、「光村図書」の6年生260ページの「考えを助ける図表」も、論理的思考を身につけるのに良いです。この図表は、他の教科でも使えると思います。

長澤委員長： 藤原委員は「東京書籍」と「光村図書」両方挙げられていましたが、いかがでしょうか。

藤原職務代理： 様々な面があると思いますが、「光村図書」は、表紙が絵本のようなイラストで、子どもにとって興味を引きやすいデザインだと思います。また、子どもも大事にしたいと思います。

長澤委員長： 「光村図書」が良いという意見が多いですが、桜井委員はいかがですか。

桜井委員：私も「光村図書」が良いと思います。

長澤委員長： 以上のような意見が出されましたがいかがですか。「光村図書」ということで異議はございませんか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、国語は「光村図書」を採択いたします。

長澤委員長： 次に、書写について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、書写につきまして、審議を始めます。書写は6社から出ております。ご意見のある方は、挙手をお願いします。

藤原職務代理： ノートやポスターなどを書く際には、文字の形を整えるだけでなく、子ども自身が思考・判断し、より見やすく文字を配列することが必要です。

「東京書籍」や、「日本文教出版」では、字間や行間、余白とのバランスを子どもに考えさせる学習が丁寧に扱われているので良いと思います。

三宅教育長： 「東京書籍」と「日本文教出版」は、いずれもカードやポスターなど、目的に適した筆記具を選ぶ学習のところが詳しいです。

磯和委員： 「東京書籍」1年生では、巻末に「できたよシール」がついており、子ども自身が振り返る際の励みになると思います。

長澤委員長： 今のご意見では、「東京書籍」「日本文教出版」に絞られてきているように感じます。この2社について、ご意見ををお願いします。

藤原職務代理： 2社を比べると、教科書のサイズに違いがありますね。子ども

が机の上で、お手本として使いやすいのは、B5サイズの「日本文教出版」だと思います。

三宅教育長： 毛筆の導入について、「日本文教出版」の3年生では、筆の穂先のイラストが黄色で重ねて示してあり、筆運びや筆の向きも分かりやすいと思います。

長澤委員長： 他にご意見はありませんか。

長澤委員長： 選定資料を含め、今のご意見を総合しますと、「日本文教出版」が良いように思われます。いかがでしょうか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、書写につきましては、「日本文教出版」を採択いたします。

長澤委員長： 次に、社会について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、社会について審議を始めます。社会は4社から出ております。ご意見をお願いします。

三宅教育長： 選定委員会答申にもあるように、どの出版社も たくさんの写真や資料を載せています。

特に平和の問題についても、今までの事実を見ながら道筋立てて勉強できるような資料やイラストが大事だと思います。

中でも、「東京書籍」は、良い地図やイラストを使っています。

基地の問題や、アイヌの伝統文化を取扱っています。さらに国境の問題も付け加えてあります。

また、折込資料や学習内容を補充するコラムが多く、子どもが自分自身でも読んで学ぶことができると思います。

「日本文教出版」は、防災の問題等については丁寧に取り上げていて、1学年ではなく、様々な学年で取り上げられています。防災の意識を子どもたちの中に育てることができると思います。



藤原職務代理： 「東京書籍」では、キャラクター（ドラえもん）による吹出しを使って、学習の流れなどを説明しているのも、子どもが楽しみながら学習できると思います。

社会科は、地理や歴史や公民をしなければならず、非常に難しい部分ですが、子どもたちが自分から学ぼうと感じてくれれば良いと思います。

長澤委員長： 他にご意見はいかがでしょうか。

磯和委員： 「東京書籍」は、構成が「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階で学習が進められるようになっており、問題解決型学習の流れがはっきりとしている点が良いと思います。

また6年生ではユニバーサルデザインが取り上げられています。

長澤委員長： 桜井委員は何かありませんか。

桜井委員： はい、特にはございません。

長澤委員長： ご意見をお伺いしていますと、「東京書籍」の評価が高いと思われませんが、「東京書籍」に決定してもよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、社会につきましては、「東京書籍」を採択いたします。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、地図につきまして、審議を始めます。地図は2社から出ております。ご意見のある方は、お願いします。

藤原職務代理： 「東京書籍」は、地図のサイズが大きく、とても見やすいと思います。日本列島全体をみる大きな地図が3ヶ所あり、日本の周辺や海底地形図の様子がわかりやすいです。

磯和委員： 私は「東京書籍」が良いと思います。地図帳のサイズの面からみると、「帝国書院」は小さくて、学校の机で広げて見る際には扱いやすいと思いますが、「東京書籍」の方が文字が大きく、見やすいフォントを使っています。情報の拾いやすさがあると思います。表紙のデザインもよく、子どもが興味関心を持って学習に臨めるとと思います。

三宅教育長： 字の大きさにしろ、地図の見やすさにしろ「東京書籍」の方が良いと思います。

また、学校からの意見書を見ると今まで「帝国書院」を使ってきたので、「帝国書院」という意見が多いかと思っていましたが、「東京書籍」という意見が多かったです。

長澤委員長： 桜井委員はいかがですか。

桜井委員： 大きさもそうですが、色合いもよくて長い間見ても、疲れないので、「東京書籍」が良いと思います。

長澤委員長： みなさん「東京書籍」が良いのではというご意見ですが、異議はございませんか。

各委員： 異議なし

長澤委員長： 異議なしということで、地図につきましては「東京書籍」を採択いたします。

長澤委員長： 次に算数について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、算数につきまして、審議を始めます。算数は6社から出ております。ご意見のある方は、お願いします。

藤原職務代理： 「東京書籍」は低学年のうちから、テープ図が扱われています。また、どこの会社も「数直線図」を使って教えていて、良いと思います。

その中で特に「大日本図書」や「啓林館」、「教育出版」は、3、4年生から「数直線図のかき方」が示してあり、解決方法の一つとして有効に活用できると思います。

磯和委員： 「啓林館」は、各学年に「よみとる算数」のページがあります。文章やグラフから情報を読み取って解く問題を重視しており、読解力の育成にもつながると思われました。ただ、全体的に分量や文字数が多く、難しい印象があります。

一方、「日本文教出版」は、レイアウトがすっきりしており、分かりやすい内容だと思います。

三宅教育長： 本市は算数も問題解決型の学習で、それぞれの学校で授業作りに取り組んでいます。

教科書もその授業に沿う形で、問題解決学習がスムーズにできるようにという視点で見えています。

どの会社も、問題解決型学習の流れを取り入れていると思われました。

その中で、「啓林館」、「東京書籍」は、良いと思いましたが、また「日本文教出版」は要所要所に絞って問題解決型学習を取り入れていると思われました。特に6年生で分数と分数の割り算の問題があり、先生方も指導に苦勞して、結論だけを教えてしまいが、丁寧に色々なやり方を示しながら教えている「日本文教出版」のやり方は良いと思います。

大きいというところが果たして良いのか悪いのかは分かりませんが、見やすいことは見やすいと思います。

藤原職務代理： 算数というのは、分数が非常に難しいです。そのため、分数をどう教えていくかが大切です。方法をどう示していくかが大事になります。

国語の授業で、子どもたちはどういうふうを考えていくかという、言語活動を大事にしています。その中で考え方の順序も色々あります。算数でもそれが使われている部分が見えてくるところがあります。

例えば何かというと「日本文教出版」では、4年生の問題でもどう計算をすればいいか、「2ケタの計算の方法を話し合ってみましょう」というところがある。「話し合ってみましょう」というの

は先生と話すのではなくて、生徒同士で話し合い、まず何をしたらいいかを考えることです。それを大事にしていると思います。

これから子どもたちに力をつけていく一つの方法として、ただ単に計算力だけではなくて、どのように物事を考えながら進めていくことが大事だと思います。

そういうことを考えると「日本文教出版」のほうが、良いと思いました。

長澤委員長： 桜井委員はいかがですか。

桜井委員： はい。結構です。

長澤委員長： どの会社も、子どもたちの学びを深めるために、さまざまな工夫をしていますが、私自身は、本市で今の取組を考えてみますと、「日本文教出版」が合っていると思いますが、委員の意見を聞きましても、どちらかというところ「日本文教出版」を推す方が多いようですので、算数は「日本文教出版」を採択としてよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、算数は「日本文教出版」を採択いたします。

長澤委員長： 次に、理科について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、理科について審議を始めますが、「信州教育出版社」の見本本が門真市教委には届いておりませんので、選定対象から除外します。なお、この後にあります生活についても同様の取扱としたいと思います。理科は5社から出ています。ご意見のある方は、お願いします。

藤原職務代理： どの教科書会社もそうですが、最初のところに、理科の世界、理科で一番大事なことは何か、学習の仕方見つけよう、計画しよう、調べよう、振り返ろうということを、子どもたちが必ず、理

解した上で進めていくというところを見てみますと、すべての教科書に最初ページに載っているのです。ということは、理科の学び方はこうするということが、子どもたちにしっかり伝わっていくと思います。そのことは、選定委員会答申にもあり、私もそう思います。

全て同じだとは思いますが、どこが一番いいかという、「啓林館」は「見つけよう」、「計画しよう」、「調べよう」、「振り返ろう」の4つで考えているところが良いと思います。

「東京書籍」にもあるのですが、すごく長いです。細かいところまで見ていかなければなりません。

三宅教育長： 理科というと結論が先に出てきて、知識的な問題が今までは多かったと思います。

今、教科書は興味関心を子どもたちに与えて、自分達で問題を見つけて、その問題をどう解決すれば良いか、問題解決型の算数でも社会でも言えると思います。そうなってくると教科書としては子どもが思えるような最初の提示が必要です。

例えば、地質の問題では、即、見に行くわけにはいきませんので、写真を見て、そこから子どもたちが驚きを感じて、どうしてそうなったかを考えていきます。今はテレビで色々と番組がありますので、子どもたちもよく知っていますが、その中で興味を引きそうな教科書は「東京書籍」「啓林館」がダイナミックだと思います。

「啓林館」は116ページでここから入っていくと面白いと思います。「東京書籍」はまだインパクトが弱いと思います。

また、私は、「大日本図書」も良いと思いました。112ページに両面いっぱい使って、地質に興味を持たせるような写真が載っています。

「大日本図書」は捨てがたいと思いましたが、選定委員会の意見を見ますとほとんど良い意見がありませんでした。

そういうことも考慮し、全体的に考えれば、やはり「啓林館」になると思います。

磯和委員： 「東京書籍」は、デザイン、レイアウトが最初から問題定義があって、それについてどういう実験をしましょうとなり、観察なり実験なりして、レイアウトとしては問題解決までの過程が分か

り非常に工夫されていると思います。

「啓林館」が面白いと思ったのは、「話し合いましょう」というのがあって、話し合いの結果、こういう結論がでました、最初の仮説と比べてどうですかとなっている。

ある意味他人とのコミュニケーションを取りながら実験を進めていって、話し合いが大事にされていて、良いと思います。

長澤委員長： 桜井委員はよろしいですか。

桜井委員： はい。結構です。

長澤委員長： 3人の意見では、「東京書籍」と「啓林館」で、教育長は「大日本図書」も評価されましたが、選定委員会の評価はあまり高くないということで、「東京書籍」と「啓林館」の2社に絞ってご意見をいただくということでよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし。

藤原職務代理： 「啓林館」は「わくわく理科」で、「東京書籍」は「新しい理科」ですが、「わくわく理科」は、考え方が良いと思います。

後ろに「わくわく理科プラス」があり、これをうまく活用すると、うまく復習ができ、毎單元ごとにより、これも子どもたちにとってプラスになるかと思います。

2つのうちどちらかと言われると、何かプラスになる「啓林館」だと思います。

磯和委員： 確かに、後ろの分かれるようになっている部分とか、選択式ではなくて、文章として書き込むような形になっているのは良いと思います。記述という文章、単語をしっかりと書くということは良いことだと思います。

三宅教育長： 全体的にみると、本市は「東京書籍」の時もありましたが、先生達は「啓林館」が使いやすいと思います。

理科嫌いの子どもたちもいますが、先生の中にも理科が苦手な人もいます。当然研修なども必要ですが、使いやすい教科書が大切になると思います。

長澤委員長： 2社に絞った形でご意見を伺いますと、「啓林館」という意見が強いようございますので、「啓林館」に決めてよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし

長澤委員長： では、理科につきましては「啓林館」を採択いたします。

長澤委員長： 次に、生活について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、生活について審議を始めます。生活は7社から出ております。ご意見をお願いします。

藤原職務代理： 1，2年生の理科と社会が生活ですが、1年生、2年生なので、どこの教科書かも大事ですが、スタートが何か、何をしていくかが大事です。実際に家を出て、地域に入っていく時に、どういう形で生活していくかを、しっかりと学んでいくことが大事になってきます。マナーとかルールとかがきちり書いているところが良いと思います。

例えば「日本文教出版」の下、「出かけるときのマナー」などです。

子どもたちが地域で生活する上で何が大きかを学ぶ教科なので、どれが良いかは難しいと思いますが、色々と意見を聞きたいと思います。

三宅教育長： 生活科は、今まで1，2年生は理科や社会があったのが生活科になったという経過があるから、子どもの身の回りの身近な問題を取り上げて、先生が色々と話をすればいいかと思いますが、教科書は必要ないという話が以前はありましたが、教科書を見てみると楽しいし、写真も綺麗で1，2年生は色々なことに興味を持っていくだろうと思います。そういう意味で教科書の良さを考えてみた時に、私は、「日本文教出版」、「啓林館」を推薦します。

一つは自然ですね。虫や野菜、自分の身の回りのものについて、関心を持たしていくような写真が豊富にあるということが一つあります。

そして、それがすごく大きく書かれています。例えばバッタならバッタで大きく全面に出てきているのはすごく興味を引きます。

虫の嫌いな子どもにも虫は面白いと思ってもらえる教科書という観点でみると「日本文教出版」、「啓林館」が良いと思います。

桜井委員：教科書は現場の先生が使うものですので、現場の先生の意見を尊重し、選定意見も尊重したい思っていますが、それに加えて生活については、意見をしようと思います。

三宅教育長は写真がすごく綺麗とおっしゃっていましたが、写真がすごく多国籍で、ポルトガル語圏の子どもとか、ヨーロッパだけではなくて色々な人種の子どもたちが出てきています。国語や算数などで色々な子どもたちが入っている教科書はありませんが、本当はあったほうが良いと思います。

本市はとりわけ外国籍の子どもたちがたくさんいるので、「日本文教出版」は秀でていていると思います。

「啓林館」は写真ではなくて、イラストですが、多様な人種の子ども達が映っています。それは、マイノリティーの子どもたちを救う教科書になると思います。

磯和委員：多国籍のことがあったり、車椅子に乗っている子どものイラストが多数でてきている「啓林館」が良いと思います。

長澤委員長：今までのご意見によると、「日本文教出版」と「啓林館」の2社に絞られてきたようです。

藤原職務代理は他の委員の意見を聞いてという発言があったのですが、もう少し絞った形の意見をお願いします。

藤原職務代理：全体的に見ると、「啓林館」の方が、ほとんどのページに車いすに乗っている生徒が載っていて、一つ意味があると思います。イラストが良いと思います。

磯和委員：「啓林館」は、見開きで一つの絵や写真になっているとか、大



きく見易く、迫力があると思います

三宅教育長： 「啓林館」は人権上の配慮であったり、またどの教科書も指摘していますが、高齢者が多くなる社会になることがきっちりと指摘されています。

それから遊び場を見た時に、車いすの子どもが載っていますし、視覚障がい者と盲導犬も載っていますし、「啓林館」でいいかと思えます。

長澤委員長： 桜井委員は「日本文教出版」を推していましたが、私は極力多数決を避けたいと思いますが、いかがですか。

桜井委員： 多国籍に関しては、「日本文教出版」が良いと思いますが、障がい者も観点に含むと「啓林館」が良いと思います。

さらに欲を言えば盲導犬や車いす以外にも障がいを表現できるようなものがこれから出てこればいいなと思いますが、両方掲載されている「啓林館」が良いと思います。

長澤委員長： 今のご意見を総合しまして「啓林館」ということでよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、生活は「啓林館」を採択いたします。

長澤委員長： 次に、音楽について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、音楽につきまして、審議を始めます。音楽は2社から出ております。ご意見のある方は、お願いします。

磯和委員： 「教育出版」は、曲のイメージが分かるような、大きな写真が載せてあり、鑑賞のための音楽が非常にたくさん紹介されています。クラシックもあればジャズもあり、資料が多いです。

小学校の音楽は楽しくすればいいのか色々な知識を理解する

ことが大事かは難しい所ですが、分かってすると楽しいですし、鑑賞しながら自分でも音楽をしてみようとなりますし、「教育出版」の音楽の教科書は良いと思います。

三宅教育長： それも、分かりますが、教科書を使って授業をしている時に6年生の「ふるさと」を見てみても、取っ付きやすさについては、「教育芸術社」が良いと思います。

確かに、「教育出版」は綺麗ですが、私は子どもの視点で見て、取っ付きやすさ、歌を歌う時のことを考えると「教育芸術社」の方が良いと思います。

藤原職務代理： 私も選定委員会の答申にもあるように、「教育芸術社」が良いと思います。

長澤委員長： 今、磯和委員は「教育出版」、三宅教育長と藤原職務代理は「教育芸術社」ですが、もう少しご意見を伺いたいと思います。

桜井委員： 磯和委員がおっしゃるように「教育出版」は魅力的ですごく読ませるし、内容があると思いますが、三宅教育長がおっしゃるように子どもたちにとったらと考えると悩ましい所です。

分かりやすいのは「教育芸術社」かなと思います。現場の先生達の意見からも、「教育芸術社」かなと思います。

三宅教育長： それほど違いがあるわけではありませんが、現場の先生達も使いやすい所も含めて「教育芸術社」の方が良いのではないかと思います。

藤原職務代理： 子どもたちにとってどちらが良いかという使いやすいほうだと思います。

長澤委員長： 先ほども申しましたが、多数決での決定はできるだけ避けたいと思いますが、磯和委員いかがですか。

磯和委員： 教科書としては子どもが良いと思うものが一番いいと思いますので、「教育芸術社」が良いと思います。

長澤委員長： では「教育芸術社」を採択ということでよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、音楽は「教育芸術社」を採択いたします。

長澤委員長： 次に、図画工作について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、図画工作について審議を始めます。図画工作は2社から出ています。ご意見のある方は、お願いします。

磯和委員： 「開隆堂」は巻頭に「小さな美術館」やアーティストの言葉など、鑑賞のページが充実しています。

「日本文教出版」は子どもたちの作品や製作過程を意識した写真が多く載っています。

また「開隆堂」は言葉が少ないですが、「日本文教出版」は、物の見方とかの解説があり鑑賞の仕方の勉強になると思います。

藤原職務代理： 「日本文教出版」は、「ごんぎつね」を見ると、国語との関連が考えられている点が良いと思います。

「開隆堂」は絵よりも図工が多い気がします。

三宅教育長： 子どもたちにとって「日本文教出版」の方が色々な意味で図画工作に関心を持つと思います。

もう一つは、国語との繋がりを私も感じました。ゲルニカの絵がでてきた時に、おそらくここで先生は何か一言いうだろうと思います。それが国語と繋がるかと思いますので、「日本文教出版」が良いと思います。

長澤委員長： 皆さんの意見をまとめていきますと、「日本文教出版」の評価が高いと思われますので、図画工作は「日本文教出版」を採択しようと思いますが、いかがでしょうか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、図画工作は「日本文教出版」を採択いたします。

長澤委員長： 次に、家庭について審議を行います。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、家庭につきまして、審議を始めます。家庭は2社から出ております。ご意見のある方は、お願いします。

磯和委員： 「東京書籍」は単元の配列に連続性がある点がいいですね。例えば、「料理をしましょう」とあれば、買い物、料理ときて、献立を考えるにしても買い物、料理方法、食べる、と一連の流れになっており、学習時期も良く考えられています。

三宅教育長： 家庭科は自分の身の回りのことなので、非常に大事だと思います。

先生達の取り扱いも、家族のこと、色々な家族構成があることに配慮する必要がある教科だと思います。

一方自立するためには、色々なことができるようにならなければなりません。そういうことを考えると、教科書で先生に教えてもらわなくても、自分が味噌汁を作ることができるとか、ミシンを使うことができるとか自分で自立した生活ができる、教科書を見て自分でできるという教科書が良いのではないかと思います。

そういう意味でたくさんの方がありますが、やる気になれば教科書を見れば、一所懸命する子どもも出てくると思います。

併せて授業の中で丁寧にそれを教えれば、振り返るための教材にもなることができると思います。

「開隆堂」も良いのですが、そういう視点でみると私は「東京書籍」を推薦します。

藤原職務代理： ミシンの使い方の話がありましたが、ミシンの授業をするときに先生方も非常に苦労しています。これを解決するためには、地域の方に来ていただいて、ミシンの授業を行っているところを見たことがあります。そういうことを考えると「東京書籍」の方が丁寧に書かれ、説明されているように思います。

長澤委員長：桜井委員は何かご意見ございませんか。

桜井委員： はい。結構です。

長澤委員長： ご意見をまとめますと、「東京書籍」が良いと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員： 異議なし。

長澤委員長： では、家庭は「東京書籍」を採択いたします。

長澤委員長： 次に保健について審議をおこないます。

—各委員の机上へ見本本を配布し、この間数分、各委員において、見本本等を黙読する—

長澤委員長： では、保健について審議を始めます。保健は5社から出ております。ご意見をお願いします。

三宅教育長： たばこやアルコールの害ですが、高学年になるとどうしても興味が出てくるので、それがどのように体にとって悪いかが端的に表れている教科書が良いと思いますので、私は「学研」が良いと思います。

もう一つは、体の問題と心の成長をこの教科書を見ながら、授業を受けながら関心を持つということが大事だと思いますので、全体的な流れからしましても、「学研」か「東京書籍」だと思いましたので、「学研」が良いと思います。

藤原職務代理： 最近では、覚せい剤や脱法ドラッグ（危険ドラッグ）関連のニュースが続いています。

「学研」では、薬物乱用防止について一番詳しく書かれていると思います。

例えば、お酒やたばこを勧められた子どももいると思います。小学生でも、お酒やたばこに手を出す子どももありうるのです。「学研」ではロールプレイをする形で断り方を学べます。お酒や

たばこを小学生は駄目で無理です、で終わるのではなく、ロールプレイできるようになっているので、「学研」が良いと思います。

磯和委員： 各社とも、3、4年の「身の回りの環境」の学習で、部屋の換気や照明について扱っています。

「学研」は、「学校薬剤師さん」がでてきて、教室の空気が悪いという話をしている、それは本来、学校薬剤師の仕事です。そのことが、他の教科書ではほとんど書かれていません。「校医さん」が出てくるところもありましたが、「学校薬剤師さん」が正しい載せ方です。

正しく標記されているという点で、「学研」が良いと思います。

長澤委員長： 桜井委員は、いかがでしょうか。

桜井委員： 保健という科目は難しいと思います。

健康が素晴らしいのは分かりますが、そうではない時に、思春期に入る一番悩ましい時に、教科書を用いてどのように子ども達と学んでいけるかというところですが、押しつけがましくないほうが良いのかなと思います。

「学研」がいいかと思います。

長澤委員長： ご意見を総合しますと「学研」を推される方が多いようですが、「学研」でよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし

長澤委員長： 以上ですべての教科の採択が終わりましたが、すべての採択の結果を読み上げてもらいます。

岩佐学校教育参事： 種目、発行者のみ読み上げさせていただきます。

国語、光村図書出版株式会社。書写、日本文教出版株式会社。社会、東京書籍株式会社。地図、東京書籍株式会社。算数、日本文教出版株式会社。理科、株式会社振興出版社啓林館。生活、株式会社振興出版社啓林館。音楽、株式会社教育芸術社。図画工作、日本文教出版株式会社。家庭、東京書籍株式会社。保健、株式会社学研教育みらい。以上でございます。

[全委員異議なく、可決]

日程第 6

議案第32号 平成27年度小学校使用教科用拡大図書の採択について

説明者 岩佐学校教育課参事

本市小学校には、視覚に障がいがある児童が在籍しております。現在も、「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及促進に関する法律」に基づき、教科書会社等が発行している拡大教科書を使用しているところでございます。

27年度につきましても、これらの児童が学習するにあたり、拡大教科書の使用が必要であることから、27年度使用教科用図書として先ほど採択いただいた発行者が発行している拡大教科書を学校教育法附則第9条に規定する教育用図書として採択をお願いするものでございます。

[全委員異議なく、可決]

日程第 7

議案第33号 平成27年度中学校使用教科用図書の採択について

説明者 岩佐学校教育課参事

27年度に門真市立中学校において使用する教科用図書の採択につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条「義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令の定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする。」との規定に基づき採択を行うこととなります。

同一教科書を採択する期間につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令」第14条第1項の規定により、4年となっております。

26年4月11日付け文部科学省初等中等教育局長からの通知によりますと、中学校用教科書につきましては「26年度は、25年度と同一の教科書を採択しなければならない」とあります。

なお、中学校では、24年度より現在の教科用図書が使用されており、採択期間は、平成27年度までとなっております。

教科書一覧は、10ページのとおりです。

[全委員異議なく、可決]

## 日程第8

議案第34号 平成27年度中学校使用教科用拡大図書の採択について

説明者 岩佐学校教育課参事

議案第32号と同様に、現在、小学校6年生で視覚に障がいがあり、教科書会社等が発行している拡大教科書の使用を必要としている児童が在籍しております。

27年度につきましては、この児童が中学校において学習するにあたり、拡大教科書の使用が必要であることから、平成27年度使用教科用図書として先ほど採択いただいた発行者が発行する拡大教科書を学校教育法附則第9条に規定する教育用図書として採択をお願いするものでございます。教科書種目一覧は12ページのとおりでございます。

[全委員異議なく、可決]

## 日程第9

諸報告

番号1 門真市子ども読書活動推進計画策定作業部会設置要綱の一部改正について

説明者 西中図書館長

今回の改正は、第2次門真市子ども読書活動推進計画策定に伴い、作業部会構成委員の変更をするものであります。

諸報告資料の1ページ新旧対照表をご覧ください。

第1条については、26年4月1日付で門真市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱が廃止されたことから、改正しております。



第2条については、今回策定する計画が第2次の計画であるため、企画部門である企画課及び教育総務課を削除しております。また、26年4月1日付機構改革に伴い、保育園・幼稚園業務担当の変更があったため、子育て支援課、保育課を削除し、こども政策課及び保育幼稚園課を追加し、作業部会構成委員を変更したことから、改正しております。

第5条については、26年4月1日付で門真市附属機関に関する条例の一部改正により、門真市子ども読書活動推進計画審議会を設置したことから改正しております。

附則といたしまして、この要綱は26年7月10日から施行するとしています。

長澤委員長： 第二次の計画になるため、市長部局を外したというのはどういう理由ですか。

西中図書館長： 第一次の計画は21年3月に策定しましたが、第一次の計画の骨組みを基に、第一次の検証や、アンケートなどを採り、組み込んでいきますので、市長部局を外しました。

長澤委員長： 外した理由が分からないのですが、必要がないから外したのですか。市長部局から外してという提案があったからですか。

山田生涯学習部次長： 市長部局から外してという提案があったわけではありません。既に策定されている現況の第一次の計画を、再度見直すということなので、外させてもらいました。

長澤委員長： あえて入らなくても良いからということですね。

山田生涯学習部次長： はい、そうです。

長澤委員長

閉会宣言 午後4時17分

門真市教育委員会会議規則第25条の規定により署名する。

門真市教育委員会

委員長 長澤 信之

署名委員 磯和 均